

3 豊島区のまちと商店街

(1) 豊島区のまち

次世代が誇れる文化と魅力を備えた都市づくりを推進

豊島区では、都市計画に関する基本的な方針として「豊島区都市づくりビジョン」を策定することで、池袋駅周辺を中心に各地域で活発化している都市づくりを推進し、区を舞台に活躍する人々や地域の持つ力を最大限に引き出し、次世代に誇れる魅力を備えた都市の実現を目指しています。

池袋駅周辺地域では、令和元（2019）年に Hareza 池袋が完成するなど大規模な都市開発が進み、国内外で活躍する事業者の集積の受け皿となる高質なオフィス環境等の整備が進んでいます。さらに、西口周辺の開発事業による駅前広場の再整備や、東口のクルドサック*化により、駅東西に広大な歩行者空間を創出し、歩行者の回遊性向上を目指します。



Hareza池袋

(2) 豊島区の商店街

87の商店会が、多彩なまちを創出

商店街は、区民の買い物の場だけでなく地域の安全・安心に寄与するなど、地域コミュニティ*の場として重要な役割を担っています。

豊島区には 87 の商店会があり、主要駅を中心とした大規模な商店街から住宅街に近く地域の生活に密着した商店街など多種多様な商店会があります。商店会では、商品券事業などの買い物の場の提供をはじめ、地域に密着した盆踊りなどのイベントや来街者を楽しませるイルミネーションなど地域のにぎわいを作るイベント事業だけでなく、地域の安全・安心を守る街路灯の維持・管理など多岐にわたる事業をおこなっています。



池袋駅東ロイルミネーション事業

コラム

商店街のまちづくり

商店街を訪れる歩行者の安全性と回遊性を高める道路づくり

巣鴨地藏通りや立教通りでは、「防災機能の強化」、「安全で快適な歩行空間」、「良好な都市景観」を目的に無電柱化を推進しています。

さらに立教通りは、一方通行化を行い歩道幅員を拡幅するとともに、歩道下に雨水貯留浸透基盤を設け蒸散効果を促すことで、快適な歩行空間と環境機能を備えたシンボルストリートを目指し、再整備を進めています。



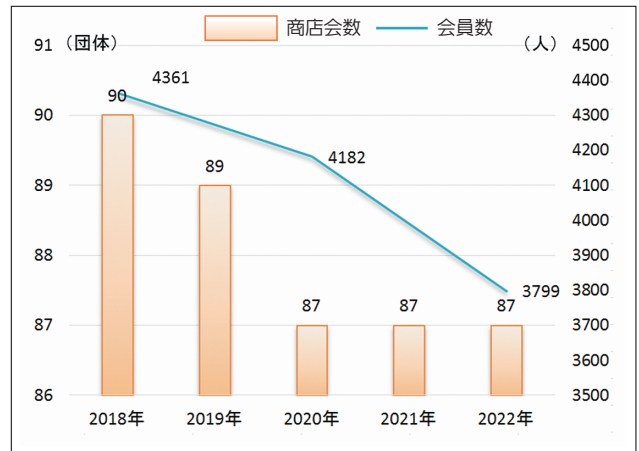
立教通りの再整備イメージ

(3) 商店会の現状

会員の高齢化とともに、商店会数は減少傾向 ■ 豊島区の商店会数および会員数の推移 ■

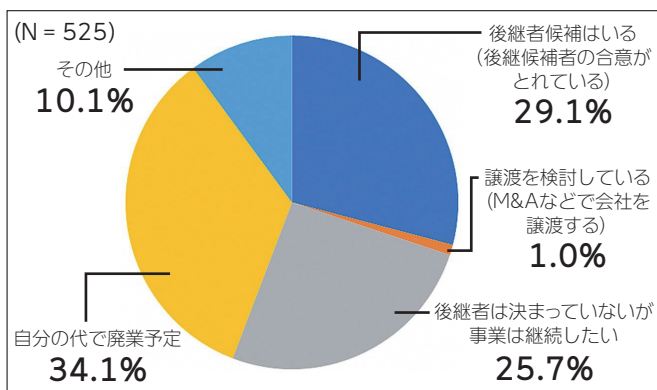
豊島区の商店会数は減少し、それに伴い会員数の減少も進んでいます。商店会会員の店主の年代も半数近くが60代以上となっているうえに、「自分の代で廃業予定」が34.1%を占め、今後も商店会数の減少傾向は継続することが予想されます。

また、商店会個店における3年前と比較した売上は、「減少」が65.0%と最も多く、商店街での商売はますます難しくなっている傾向にあります。

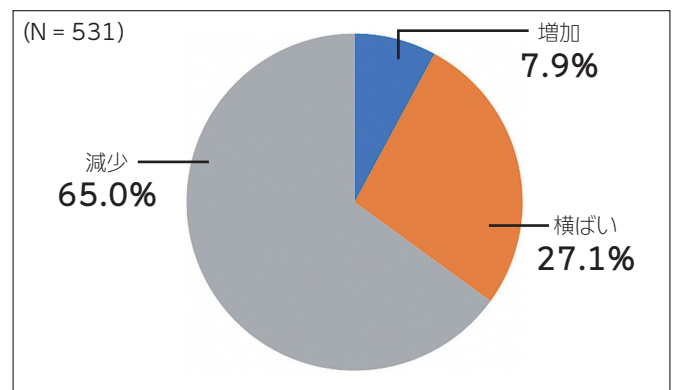


(出典) 豊島区「商店会届」より作成

■ 商店会会員における事業承継の有無 ■



■ 商店会会員における3年前と比較した売上の現状 ■



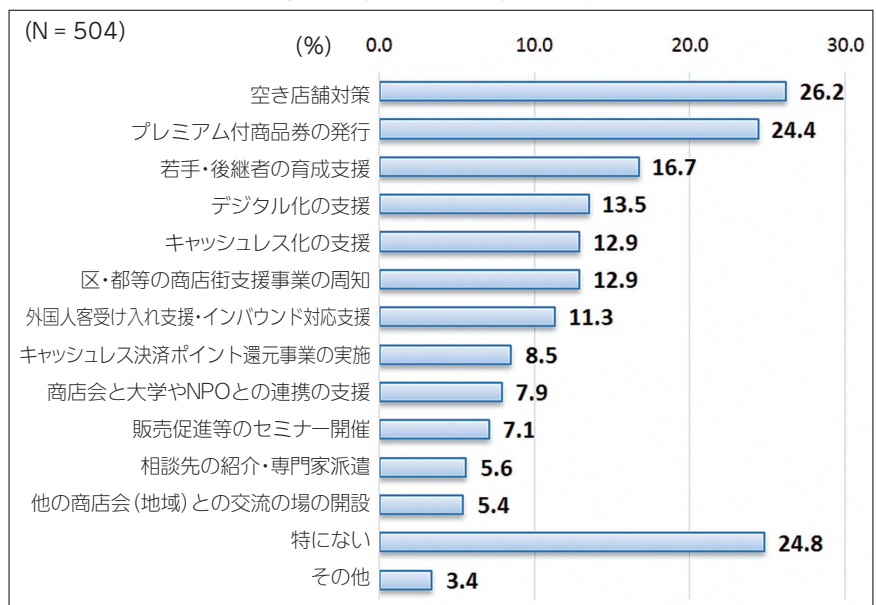
(出典) 豊島区「産業振興指針改訂に伴う実態調査報告書-商店街編-(2023年)」

(4) 商店街の課題

次世代の商店街を担う人材の確保・育成が課題

豊島区に求める商店街支援施策の上位は、「プレミアム付商品券の発行」のような現在の商店街を活性化するための施策と併せて、「空き店舗対策」や「若手・後継者の育成支援」といった今後商店街を維持・発展させるために不可欠な施策が占めています。各商店街が、地域特性を活かしたにぎわいや魅力にあふれ、安全・安心に経済活動ができることを目指し、より活性化していくことが重要です。

■ 豊島区に求める商店街支援施策 ■



(出典) 豊島区「産業振興指針改訂に伴う実態調査報告書-商店街編-(2023年)」